

京都大学霊長類研究所研修

課題研究で「霊長類学」を選択している生徒がグループに分かれて、8月14日（月）～18日（金）に愛知県犬山市の京都大学霊長類研究所で研修を受けました。実験を見学した後、データ分析について説明を受け、データをもとに意見交換を行いました。

研究者・留学生・大学院の学生など多くの人と交流して、それぞれの研究内容を説明していただくとともに、現在自分たちが行っている課題研究についても多くのアドバイスをいただきました。

◎参加生徒の感想

☆京大の霊長類研究所ではたくさんの研究員が日々研究を行っていて、その分野はゲノムに関することから、行動学にまで及ぶということがわかりました。研修中に最も感銘を受けたことは、チンパンジー相手の実験では、言葉で説明できない分、ある一つの目的のためにも少しずつ小さな過程を踏んでいくことが大切だということです。普段、なかなか見られない実験を見ることができ、非常に興味深い話も聞かせていただいて、とても充実した研修になりました。

☆私が驚いたことは、霊長類研究所では、日本人だけでなく多くの外国人の方々が研究をされているということでした。多くの英語が飛び交う現場を目の当たりにして、改めて霊長類は世界的に研究がなされているということを実感しました。また、霊長類の他に馬に対しても、チンパンジーなどの霊長類に対し行われている実験をおこなっていることにも衝撃を受けました。霊長類や馬だけでなく他の動物に対しても研究が進められ、様々な興味深いデータを得られたらいいなと思います。

この研修でたくさんの貴重な体験をさせていただいたので、これを糧にこれからの研究も頑張りたいです。

☆実際に研究所で研究を行っている人の話は新鮮でした。また、研究者・大学院生の方々も、本来調べたいことを調査するために、チンパンジーの個性も考慮しつつ、課題を制作しているという話を聞いて、私たちが月2回程度行っている実験・観察にもつながっているような気がして、研究を行う上での基本は同じなのかもしれないと感じつつも、少し嬉しく、これからも実験・観察を積極的に取り組んでいきたいと改めて思いました。

この機会に参加できて本当によかったです。ありがとうございました。